



市毛まさひろ
042-539-1775



池田 公三
042-530-0750

福生市議団ニュース

生活相談

法律相談

市毛まさひろ→090-3223-3923 毎月第2・第4 火曜日 要予約
池田 公三 →090-7946-5137 市毛・池田まで

6月市議会報告

どうなる福生市民会館移転計画!

福生市民会館大ホールの使われ方(数字は「回数」)

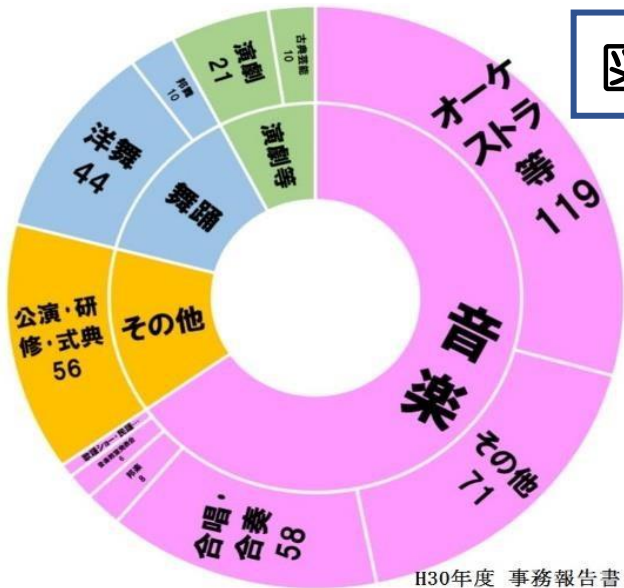


図1

これらの理由から、市民会館大ホールは年間のステージ数も多く、約9万人もの観客が訪れています(コロナ禍以前)。福生市は、施設の計画を西口再開発にあわせて、その機能を移転しよ

す。図2は、近隣のホール設置状況です。福生市民会館は、青梅線沿線で一番西にある千人規模のホールです。隣の羽村市は854席で、川を挟んだあきる野市は702席です。あきる野市では中学校の合唱祭を行うにあたり700席では足りず、福生市民会館で実施しています。福生近辺の千席以上のホールは、瑞穂町、昭島市、立川市にしかなく、福生市民会館は交通の便も良く、西多摩の皆さんにとって非常に価値があることが良く分かります。

図1をご覧ください。福生市民会館は、6割以上が音楽ジャンルで利用され、さらに内訳としてオーケストラ等のクラシック音楽が3割を占めています。これは市民会館の大ホールとしての音響効果が素晴らしく、プロの演奏家たちから高い評価を受けている

市民会館の大ホール機能は西口には移転しないことが判明

と考えていました。しかし、移転するのは小ホールのみであり、大ホールについては移転されないことが6月議会で明らかになりました。

小ホール機能であれば、あきる野市や羽村市のホールで事足りてしまいます。福生をはじめ、西多摩の皆さんに必要とされているのは千席以上の音響効果の高い劇場型ホールです。このまま計画を進め大ホールを無くせば、年間9万人もの利用者たちは、瑞穂、昭島、立川の大ホールに流れることとなりますし、主催者側としても今でも厳しいホールの予約がさらに取りづらくなります。福生市内の飲食業も大きな影響を受けるでしょう。

このように、大ホールを無くすことは西多摩全体にとっても大損失です。市民の反発を恐れ、大ホールについて「総合的に判断することし、今後の存廃を明らかにしていません。いまこそ市民が「大ホールは無くさないで!」と大きな声を上げる必要があります。

図2

H30年度 事務報告書より

自治体	大ホール所有会館名	客席数
福生	福生市民会館	1062
羽村	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	854
あきる野	秋川キララホール	702
瑞穂	スカイホール	1008
昭島	KOTORIホール	1031
立川	たましんRISURUホール	1201

米軍横田基地について

F-16 戦闘機が墜落することを想定して訓練!!

米軍と訓練する福生消防署職員



5月9日から13日にかけて米軍横田基地内で、「ビバリーモニング」という軍事演習が行われました。この演習のため、演習前日の5月8日に青森の三沢基地からF-16戦闘機が12機やってきました。後日、3機が新たにやってきて、この演習中に確認された戦闘機は全部で15機です。

福生市内の騒音はますます、まるで雷のように、ばりばり、ごろごろというものすごい音でした。皆さんも聞いたのではないかと思います。これは、戦闘機が高速・高高度を出すためのアフターバーナーをかけての急上昇離陸をするハイレートクライムという離陸方法を行ったためです。今回、こんなに戦闘機が横田

基地にやってきたのは、迅速機敏戦闘展開(ACE)という、戦力をほかの基地から必要な基地(今回は横田)に急いで運び、運用するための演習ということでした。それに伴い重大事故即応演習(MARE)も行いました。米軍のホームページによると、今回の重大事故とは、戦闘機が攻撃を受け、墜落炎上したという想定で行っていたことが分かりました。そのため、福生消防署も訓練に参加しています。もし本当にそのような事故が起これば、基地の外への影響は避けられないにもかかわらず、市民にその危険性は広く知らされていません。飛行機の爆音が怖いだけでなく、なぜそんな訓練をするのかと考えることも、さらに怖くなります。



急上昇離陸をする戦闘機

「横田基地の賛否」は恣意的・誘導的

福生市は3年ごとに市政世論調査を行っています。令和3年の調査では市民2,000人を抽出し、49問、回収率43.4%、867人の回答でした。日本共産党福生市議団は、6月市議会の一般質問で、問24の「横田基地の賛否」を聞く選択肢や聞き方に重大な問題があり、市民の意見・意向を正しく反映していないことを指摘し、改善案を提案しました。

↓ 現行の問いの立て方

- 問24 横田基地について、日頃あなたが考えていることに最も近いものを一つ選んで下さい。
1. 国の防衛政策上のための施設であり、あって当然である
2. 国政上の問題であり、あってもやむを得ない
3. あってもやむを得ないが、騒音対策や生活環境整備に力を入れるべきだ
4. 必要な施設だと思うが、福生市にあるのは困る
5. 市の発展に影響しているの、ない方がよい
6. その他

↓ 日本共産党が提案する改善案

- 問24 横田基地の賛否について伺います。あなたの考えを選んでください。(〇は1つ)
1. 横田基地はあった方がよい
2. 横田基地はない方がよい
3. どちらとも言えない
上で1を選んだ方に伺います。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)
1. 国の防衛政策上のための施設であり、あって当然である
2. 国政上の問題であり、あってもやむを得ない
3. あってもやむを得ないが、騒音対策や生活環境整備に力を入れるべきだ
上で2を選んだ方に伺います。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)
1. 市の発展に影響しているの、ない方がよい
2. 騒音、墜落、落下物、軍人事件など、基地被害が大きいので、ない方がよい
3. 横田基地があると、かえって攻撃される危険性が高くなるので、ない方がよい

現行調査の4つの問題点

- ①質問用紙には「横田基地の賛否」と書かず、単に印象を尋ね、集計結果では「横田基地の賛否」として1、2、3を選んだ人を勝手に「肯定派」(賛成)として発表している。「賛否」を聞くならばはっきり聞くべきです。
②賛否を聞くのに、賛成の選択肢が3つ、反対の選択肢が1つと不公正。
③3番目の選択肢「騒音対策や生活環境整備に力を入れるべきだ」は市民全員が思っていることで、ここだけにこの文章を入れるのは、「反対派」の人も含めここに誘導する効果がある。
④5番目の「反対派」の唯一の選択肢「市の発展に影響しているの、ない方がよい」だけでは、ここに〇をつけられない「反対派」の方もいて、「その他」に誘導される。

改善案の中身

- ①最初に、「横田基地があった方がよい」、「横田基地はない方がよい」、「どちらとも言えない」と簡潔な質問とし、「肯定派」と「反対派」をより正確に把握します。
②次に、「肯定派」の理由を聞きます。選択肢は現状の市の案と同じにしました。3番目の選択肢は誘導的質問だと私は批判しましたが、ここでは先に横田基地があった方がよいか、ない方がよいかを聞いているので、誘導的要素は軽減されていると考えます。
③「反対派」の選択肢は、市の案の1つに2つを追加して、「肯定派」と同じ数にします。

この調査方法によって初めて横田基地の賛否を把握できるのではないのでしょうか。また、これまでの結果と比較することで、新しい情報が得られ、市政運営にも活かせると考え、この改善案を提案しましたが、市長は「昭和57年から同様の選択肢で実施してきており、経年変化を把握することが重要なので」現状では変更しないとの回答でした。恣意的・誘導的アンケートを継続させ、得た結果をもって、「横田基地肯定派」が「8割後半となっている」と描くことをこれからもずっと続けることは許されません。行政として横田基地問題に対応する際にも悪い影響が出るでしょう。日本共産党は3年後の市政世論調査ではぜひ改善すべきと強く要請しました。

本当の学びってなんだろう？

GIGAスクール構想って何？

福生市が推進する「GIGAスクール構想」は、児童・生徒一人一人に1台のコンピュータ、タブレット端末を配備して、学校には高速ネットワークを整備するという文部科学省の構想に沿ったものです。その発端は日本の経済界が安倍前政権に提言した「未来投資戦略2017」です。その具体化として、経済産業省が2019年にICT人材の育成と公教育の民間企業への市場開放を目的に主導し、それに乗った形で文部科学省が提唱したものです。したがって、このGIGAスクール構想には経済的理由が先行していて、教育的意義が後づけされてきたものだけに、運用に当たっては十分な注意が必要です。

機器利用の拡大は、そのような人間同士の関わりを阻害していると予想されると分析しています。

OECD経済協力開発機構が15歳の生徒を対象にして3年に1度行っているPISA(国際的な学習到達度調査)において子どもたちの成績とICT活用(ICT教育)教育現場で活用される情報通信技術そのものや取り組みの(総称)との相関関係を分析しています。そして、東京大学名誉教授の佐藤学さんによると、「学校でコンピュータを使う時間が長過ぎると、読解力が下がる」という衝撃的な分析結果を導いています。これは、いわゆる概念的な理解や高次の思考スキルというのは、生徒と教員の緊密なやり取りというものが必要で、また、生徒同士の協働的なディスカッションなども必要だということを示しています。ICT

元学校教員である日本共産党の池田議員は「本当に、その子の得手、不得手を見抜くのは、教師の力量の一つです。教師の専門職としての仕事は、一人一人の子どもに本当に合った教材や教え方を工夫することによって、そのためには少人数数学級が必要なのですけれども、人数が幾ら多くてもそういう方向で努力するのが教師の使命です。そういう点で、いわゆるタブレットに代表されるようなICTといったものは、その手助けになるように使うということであって、決して、教師に取って代わるものでもありませんし、子ども自身が手を動かし、体を動かして覚える日々の努力、本当の学びが、それに取って代わるものでもありません」と話します。日本共産党会派として、今後の福生市のICT教育と、GIGAスクール構想が本当の意味で子どもたちの一人一人の学びと協働的な学びが発展するように運用されていくことを期待します。

